

北米における高等学校卒業程度認定試験 General Educational Development Test について

石岡恒憲（大学入試センター）

要旨

- GED: 北米における高等学校卒業程度認定試験
- American Council on Education主催、GED Testing Service運営
- 高校最終年生の上位60%相当の学力（アメリカの進学率に一致）
- もともと第2次大戦後の退役軍人のためのもの（1942年～）
- 受験動機：(1)高校卒業証書の代わり(2)自宅学習の証拠(3)高校退学
- 受験者数：計1,500万人超；高校生の7人に1人、大学生の20人に1人
- GED資格生の70%は20歳以上；平均年齢24.1歳
- 英語、スペイン語、フランス語、拡大文字、音声カセット、ブライル点字
- テスト毎年随時；テストセンターや軍事施設で受験

目次

- GEDの歴史、試験構成、科目詳細、合否基準
- GEDに対する批判
- 日本の高等学校卒業生認定試験との比較
- GED受験者や合格者に関する各種統計

歴史

- 1942年版：教科科目が主
- 1978年版：教科科目＋論理的思考力(Critical Thinking)
- 1988年版：作文試験追加
 - 社会的な話題；より問題解決型のスキル
- 2002年版：よりビジネスに関係するトピック
- 2011年版（改訂予定）

予備テスト

- 数学と自分の選ぶ科目の計2科目（ただしエッセイ不可）
- GEDに用いられる可能性のある25,000の質問の中から 15～20問
- 時間制限なし

登録

- 受験者本人であることの証明＋居住証明
- 運転免許、出生証明(birth certificate)、パスポート
- 公立スクールあるいは成人教育機関に申請
- 18歳未満の場合、現在、高校に在籍していないことの証明
- 1週間から3か月の待機

テスト準備

- 合衆国政府による成人教育プログラム(Adult Education Program)
- 1960年代から ;成人のセカンダリー学校教育の完遂を支援
- 無収入や低所得であっても 利用可
- 成人教育プログラム委員会
 - はじめて受験する人の合格率が期待よりも低い(30%)
 - 受験前の教育or落ちた場合の再教育
- 授業は週1度、高校の授業のやり方と同じ
- テキスト使用、たまに宿題

テスト日時

- ライティング、社会、科学、読解、数学の5科目
- 数学では電卓の使用可の部分と不可の部分
- テストは2日あるいはそれ以上
- 大会場では、受験生は連続する2日間や、2週連続する週末に受験可
- 年間を通じて、随時、実施

構成

ライティング(Writing, Part I)	50問	75分
エッセイ(Writing, Part II)	1題	45分
社会(Social Studies)	50問	70分
科学(Science)	50問	80分
読解(Reading)	40問	65分
数学(Mathematics)	50問	90分

計7時間5分

ライティング (Writing Part I) : 50問75分

- 文章の構成(30%)、組織化(15%)、語の使用法(30%)、技巧(25%)
- 資料文を与えて正しい文を選ぶ
- 正しいアメリカ英語に修正する
- よくあるミス・スペル、主語や述語の対応、大文字の使用

ライティング (Writing Part II) 1題45分

- 実際にエッセイを書く
- 最低5つのパラグラフ; 導入、本論、結論の3つの部分
- トピックは特定の知識や既読が有利にならないよう配慮
- 親しみやすい一般的なトピック
 - ティーン・エージャーの激しい(violent)音楽の影響
 - 子供のいないライフスタイルの有利な点と不利な点
 - 現代社会において学位を得ることの重要性
- 2人のレビューによって独立に採点(最低1～最高4)
- 平均スコア<2ならPart IIは採点されない(不合格)

社会：50問70分

- アメリカ史(25%)、世界史(15%)、市民社会(25%)、経済(20%)、地理(15%)
- 資料文を読み設問に答える
- 多肢選択
- 図やグラフの併用

理科：50問75分

- 生物(45%)、地学(20%)、物理(35%)
- 多くの設問は地図やグラフ、ダイアグラムなどの図を含む
- 光合成、天気、風土帯、地理学、磁性、エネルギー、細胞分裂
- 外部の知識(問題文に与えられていない知識)を要求する場合は日常の身の回りのこと
- 例えば「漂白剤を混ぜると危険な家庭にあるものは何か？(答え:アンモニア)」

読解 : 40問65分

- 1つの素材に対し約5問の設問
- 全部で8つの素材
- 内訳はノンフィクション2つ、フィクション3つ、詩1つ、戯曲2つ
- 素材は有名なテキスト
- 既読を想定はしない

数学：50問90分

- 2つのパート；前半は電卓の使用可（会場で配布）
- 内訳は数と演算(20-30%)、測定とデータ解析(20-30%)、代数(20-30%)、幾何(20-30%)の4分野
- 設問の約20%が標準的なグリッド（自分で任意の正解を作成できる解答形式）と座標平面によるもの
- 残りの80%が多肢選択
- 一般的なトピック、たとえば円周、平方根、比率と比例、分数の掛け算と割り算、体積、指数、角度、ピタゴラスの定理

テストの運営

- 北米(アメリカとカナダ)で3,500以上のテスト会場
- GEDには約25の異なった版
- それぞれの版には色と番号(たとえば「黄色の3番」)
- 受験者は同じ版の試験問題を仕上げる
- 同じ会場の別の受験者は異なった版を使用
- 版によって難易度や問題数に違いはない

障害者に対する配慮

- 目が十分に見えない受験生に対して
 - 音声つき計算機(talking calculator)、ブライル点字、音声問題、拡大文字の使用可
- 身体的な障害者に対して
 - 延長時間、代筆、頻繁な休憩、個室の利用等、必要な措置
 - 手話通訳、自宅や医療施設内での受験も可
- 学習障害、たとえば難読症、注意障害、アスペルジー症候群などの場合
 - 延長時間、個室の利用、その他必要とされる措置
- その旨の証明をもって配慮が可

GEDをパスするには

- 2002年版：各テスト最低200点から最高800点
- 5科目合計の最高点は4,000点
- 平均点は各テストにおいて500点（合計2,500点）
- アメリカの高校卒業生の約2/3が400点から600点のスコア
- 300点以下あるいは700点以上のスコアはそれぞれ約2%
- 平均500点、標準偏差100点の基準化スコア
- 合格レベルは、高校卒業生の上位約60%
- ただし、各科目ごとに最低点が設定（410点）、平均で450点
- 合格には合計2,250点以上、どの科目も410点以上

GEDをパスするには (Cont.)

- カナダにおいては合格基準点は450点より高い
- GEDテストの成績は3年間有効
- 再受験した場合に良い方のスコアに置き換わる
- 1年間に受験できるのは通常3回まで
- 再受験には最低数か月の待機期間
- 何回でも受験可能

大学とGED

- 全大学の約95%がGED資格生を受け入れ
- その場合でもSATやACTの少なくとも一方が受験に際して必要
- ある4年制大学がGED資格生を受け入れない場合
 - アメリカのコミュニティ・カレッジに進学
 - その後、転学でその4年制大学への入学可
- 多くの大学(特に州立大学)で特にGED資格生のために奨学金や別の助成が用意

GEDへの批判

- テストの大半が多肢選択である
- 読解テストがあまりに単純
- 数学においては基本的な演算が多すぎ
- より上級の代数や幾何の問題が少ない

GEDへの批判(Cont.)

- テストは2002年から難しく改訂
- 多肢選択において正解をあて推量しにくくした
- 数学の代数や幾何においては、グリッドの採用
- 多肢選択での工夫
 - 「(正解を求めるのに)十分な情報が与えられていない」
 - 「上記に正解はない(他に正解がある)」
 - 「正解が(本質的に)存在しない」

日本の高卒検との違い

- 単位認定(高卒検) vs 学力認定(GED)
- 1. 高卒検では高校で単位認定された科目は受験が免除
 - GEDは全科目の受験が合格の要件

日本の高卒検との違い(Cont.)

2. 高卒検では試験科目数が8科目あるいは9科目と多い

- 国語(必修)
- 地理歴史:世界史A・Bのうち1科目必修、日本史A・B、地理A・Bのうちいずれか1科目必修
- 公民:現代社会1科目または倫理、政治・経済の2科目どちらか必修
- 数学(必修)
- 理科:理科総合、物理I、化学I、生物I、地学Iの5科目のうち2科目必修
- 外国語:英語(必修)

3. 高卒検の受験機会は年2回(8月と11月)のみ

2005年度統計

- 受験者680,874名（2.2%上昇）
- 合格者405,724名（4.4%上昇）
- 52.6%白人、23.4%黒人(African American)、19.2%ヒスパニック、2.5%アメリカ先住民、1.7%アジア人、0.7%太平洋島民/ハワイ人、9.2%不明
- 合格者の平均年齢24.1歳
- 男性57.6%、女性42.4%
- 合格者の41.9%が正式な教育の11年以上の修了、29.9%が10年以下での退学
- 合格者の61%が教育上の理由で受験、39%が就職目的

ご清聴ありがとうございました